

五十石橋耐震事業

標茶町の釧路川に渡河する五十石橋は、架設から47年経過しており、橋の老朽化及び狭小幅員の解消、地震時の被害発生防止などを目的に、架替え工事を実施しています。



受注者：クニオカ工業株式会社

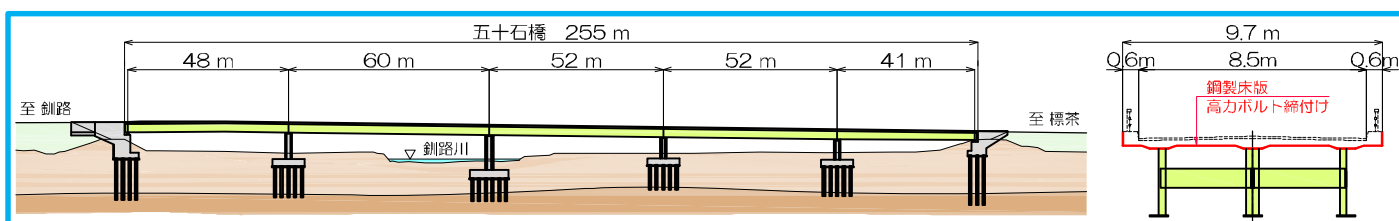
工事名：一般国道391号 標茶町 五十石橋床版工事

本工事は、五十石耐震事業のうち釧路川を跨ぐ延長255.0mの橋梁工事で、床版コンクリートや橋梁防護柵等の設置を行っています。

作業期間：平成28年3月～平成28年12月

工事箇所：川上郡標茶町オソツベツ

工事内容：5径間連続鋼非合成鈹桁橋（橋長：255.0m、幅員：8.5m）
支間長：48.0m-60.0m-52.0m-52.0m-41.0m



◆ 現場の施工状況報告

▼現場全体写真



▼地覆型枠解体作業



▼高欄設置作業



◇ 現場コメント

10月末に地覆conの打設を終了し、11月は地覆conの型枠解体及び高欄の設置を終了しました。足場の解体前に各部の仕上げを行い、足場の解体後に仮設道路の敷鉄板の撤去を行い工事が完了します。本年は、初雪も早く気温も低い状態ですが、安全に作業を行い工事を完成します。